

4 各教科等の指導のポイント

国語

言葉による見方・考え方を働かせ、主体的に課題解決に取り組む授業づくり

授業づくりのポイント ※数字は学習の例と対応

- ① 指導事項が示す内容を適切に捉えるとともに、学習の系統性を踏まえ、単元において育成を目指す資質・能力の焦点化を図る。
- ② 課題解決に向けた試行錯誤の過程で、資質・能力を活用・発揮する場面が生まれる言語活動を構想する。
- ③ 個と集団の活動を必要に応じて往還し、着目した言葉の意味や働き等を吟味・検討しながら、課題解決を図ることができ学習過程を構想する。
- ④ 児童生徒が学校図書館やICT等を目的に応じて主体的に選択し活用する場面を、学習過程に計画的に位置付ける。
- ⑤ 育成を目指す資質・能力を活用・発揮している記述や発言等を具体的に想定した評価規準によって学習の状況を適切に評価し、児童生徒の学習の自己調整や教師の指導の改善につなげる。
- ⑥ 児童生徒が学びの進捗状況を自覚するとともに次の学びへつなげることができるよう、自己の学習の状況を振り返る場面や振り返りの視点を適切に設定する。

「書くこと」における考えの形成に関する資質・能力の育成に向けた学習の例

小学校第6学年 「書くこと」
 教材名『発見、日本文化のみりよく』
 単元名
 「日本文化のみりよくをしようかしよう」
 ~目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する~
 ◇単元の目標 (一部)
 (1) 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること役立つことに気付くことができる。
 [知識及び技能] (3) ①
 (2) 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
 [思考力、判断力、表現力等] B (1) ウ

単元名には、「単元における課題解決的な言語活動」と～単元で育成を目指す資質・能力～を記載します。

〈授業づくりで確認する視点〉
 本時のねらいと学習課題、学習活動、評価規準が整合しているか。

◇単元の流れ (全5時間)

- [第1時]
○学校図書館などを活用し、日本文化について書かれた本を選び、題材を決めて学習の見通しをもつ。
- [第2時]
○興味をもった日本文化についての情報を集め、その魅力を伝える紹介文の構成を考える。
- [第3・4時]
○日本文化の魅力を伝える紹介文を書き、推敲する。
- [第5時]
○紹介文を友達と読み合い、感想を伝え合う。

【S1さんが書いた文章】

まざ和りちすたくらそ
すま紙にますくかかれ和
なはのすて西らてと紙
物身よ。とじ洋使いいは
にのさ。いよ紙わてう
使回をううにれ植主
わり生よ夫比て日物に
れのか。さてべき本か
てさし。か長。まてらこ
い。まて。あ特。うし古作

《今日の学習課題》
 読み手に自分の考えが伝わるように詳しくするには、書き方をどのように工夫したらよいだろうか。

- <話し合いを通して詳しく書くための見通しをもつ場面>
 S1: 私が書いた和紙の魅力を伝える文章を読んで思ったことを聞かせてください。特に、和紙の便利さを紹介したいので、作り方は原料の紹介だけにしたいのですが、どうですか。
 S2: 作り方の紹介は簡単にしたのですね。和紙の薄くて丈夫だという点を生かして、身の回りの物に使われていることが伝わりました。
 S3: 「和紙は身の回りの様々な物に使われている」とありますが、「様々な物」とはどのような物でしょうか。この部分を詳しく書くと、和紙の便利さが更に伝わると思います。
 S1: なるほど。便利さを詳しく伝えるためには必要な情報ですね。私たちに身近な物だと、書道や絵画で使う用紙、マスキングテープなどがあります。ちなみに、二人は、どのような方法で詳しくしたか、教えてくれませんか。
 S2: 私は「例えば」という言葉を使って、いくつか具体例を挙げてみました。
 S3: 私の作文では「たくさんある」という言葉でまとめていたところを、その内容を具体的に説明する文を加えました。
 S1: ありがとうございます。二人の書き方を参考にしてみます。

S1さん、友達の手書き方を参考に、自分の文章に合う方法で詳しくしてみるとよいですね。

T: では、他のグループでどんなアドバイスをし合ったか、全体で共有しましょう。

目的や意図に応じて詳しく書くためには、「なぜ」「どの部分を」「何を書いて」詳しくするのか、どのように書き表すかなどを考えられるようにすることが大切です。 ①

単元で育成を目指す資質・能力を児童が身に付けられるように、児童の記述や発言等を具体的に想定し、児童一人一人の学習の状況を捉えて指導することが大切です。必要に応じて教師が問いを投げ掛けたり、注目すべき箇所を示したりすることが考えられます。 ⑤

読み手の立場で「どこを詳しくすれば目的や意図に応じた文章になるのか」ということをアドバイスし合ったり、詳しくする方法を複数知ることができるよう互いに書いた文章を見せ合い、その方法を話し合ったりする場面を設定することが効果的です。 ③